

平成28年度 事業報告

1 事業報告の概要

地域の多様な生活課題の解決に向けて積極的に取り組むため、ボランティアセンターを中心とした地域福祉の担い手となるボランティアの養成や研修の開催をはじめ、北海道社会福祉協議会と岩見沢市より、日常生活自立支援事業、市民後見推進事業を引き続き受託し、市民後見人の養成や成年後見制度講演会の開催など権利擁護支援を行うとともに、10月14日に岩見沢市における後見実施機関として岩見沢市成年後見支援センターを開設し、市民が担う法人後見支援員と協働し、市民参画のもと地域で安心して暮らし続けることを支えるため、地域福祉の推進を図るべく事業に取り組んでまいりました。

以下、平成28年度事業計画に沿った推進項目について報告をいたします。

2 組織の強化と人材の育成

当会としての役割を果たし、安定的かつ持続的な財源の確保や将来を見据えた人材の育成を図り、地域福祉を専門的な視野で捉えるため、各種研修会や講習会に積極的に参加、受講できる環境づくり、体制づくりに取り組んだ。

【主要な取組】

- (1) 岩見沢市より市民後見推進事業を受託し、岩見沢市の権利擁護体制の構築のため、社会福祉士資格を有する職員2名を採用し、組織の強化を図るとともに、地域福祉課に生活支援係を新設し、課内における業務体制の明確化を図った。
- (2) 子ども発達支援センターつみき園に、作業療法士資格を有する職員を採用し、より高度な療育・訓練を行った。
- (3) 役職員が各種研修会・講習会などに積極的に参加し、資質向上に努めるとともに、内部連絡会などを通じて職員間の共通意識を高め、スキルアップに努めた。
 - ・空知地区社協連絡協議会会長・事務局長会議
 - ・地域の絆と支え合い活動空知地区推進セミナー
 - ・地域に理解され支持される社協づくり研修会
 - ・空知管内社協職員連絡協議会
 - ・全道市町村社協会長、事務局長研究協議会
 - ・法人役員研修(社協)
 - ・北海道社会福祉大会
 - ・北見市成年後見支援センター視察研修
 - ・小樽、北しりべし成年後見支援センター視察研修
 - ・ケアマネージャーのための接遇マナー研修
 - ・生活福祉資金貸付事業研修会
 - ・岩見沢市子育て支援推進会議
 - ・肢体不自由児通園施設職員等研修会

- ・北海道通園センター連絡協議会研修会
- ・地域包括支援センター事例検討会
- ・生活保護受給者等就労自立促進事業協議会
- ・全道社協職員研究協議会
- ・社会福祉法人改正セミナー
- ・地域ケア会議子育て部会療育講演会
- ・南空知圏域感染症予防研修会
- ・自立生活支援専門員研修会
- ・自治体向けセミナー「市民後見人育成事業への取組み」
- ・相談支援従事者研修
- ・権利擁護研修会
- ・発達支援関係職員実践研修
- ・北海道乳幼児療育研究会
- ・北海道障がい者虐待防止、権利擁護研修
- ・児童発達支援基礎研修
- ・市町村ボランティアセンター運営協議会及び災害救護活動の支援に関する協定締結済社協連絡会議
- ・肢体不自由児通園療育合同研修会
- ・主任介護支援専門員研修
- ・法テラス札幌中空知、南空知地区関係機関連絡会議
- ・赤い羽根セミナー等に参加・受講し専門性の確保と資質向上に努め

(4) 広報活動の充実

平成 28 度においても社協だよりを一部カラーとし、見やすく親しみのある紙面づくりに努め、町会・自治会の協力を得て全世帯に配付し、当会事業の理解と福祉情報等の周知を図った。

社協だより発行回数 年 3 回（7・12・3 月）

発行部数 各回 36,500 部

ボランティアセンター広報紙「おもいあい」をはじめ、北海道社会福祉協議会発行の各種刊行物、広報紙等をボランティア団体及び関係団体へ配付するとともに、各事業・講習会等においても配付し、福祉実践活動の紹介・啓発に努めるとともに、北海道社会福祉協議会発行の情報誌「明るい社会」及び福祉機関発行のパンフレットを全民生委員児童委員、理事・監事や関係機関に配付し、地域福祉をとりまく情報提供に努めた。

活動情報をより早く正確に多くの人々に発信するため、ホームページを活用し、法人運営状況の情報公開や各種研修会や講習会の開催にあたっていち早い情報提供に努めた。

各事業、行事の開催ごとに報道機関に取材を依頼し、市民周知に努めた。

安定的かつ持続的な財源の確保

慶弔寄附等をはじめとする寄附について、市民の社会福祉に対する理解を得るとともに、会員会費制の加入促進及び共同募金の趣旨啓発に努めた。

また、赤い羽根共同募金ご当地ピンバッチを作成し財源の確保に努めた。

内 容		金 額
香典返し寄附金	33 件	1,205,000 円
一般寄附金	19 件	211,237 円
一般会員（1 世帯年額 100 円 250 町会 27,523 世帯）		2,752,300 円
特別会員（1 口年額 5,000 円 39 団体 62 口）		310,000 円
賛助会員（1 口年額 1,000 円 326 人 496 口）		496,000 円
企業会員（1 口年額 10,000 円 36 社 40 口）		400,000 円
共同募金	一般募金（赤い羽根）	8,412,422 円
	歳末たすけあい	7,952,668 円

3 施設の適正な管理運営（岩見沢広域総合福祉センター）

地域福祉活動の拠点施設として活用されるよう、福祉・ボランティア団体等の利用者の利便性の高い運営に努めた。

また、利用者の安全性を確保するため、職員・利用者を対象にした消防避難訓練や普通救命講習会、防犯講習会を開催するとともに、前年度に引き続き必要な施設の改修・修繕等を行い、利用者の安全性を確保した施設の管理に努めた。

（1）消防避難訓練等の実施

消防避難訓練 6 月 13 日、11 月 7 日

普通救命講習 11 月 14 日

防犯講習会 1 月 16 日

（2）開館時間及び休館日

開館時間 午前 9 時から午後 9 時まで

開館日数 335 日

休館日 毎月第 2・第 4 日曜日及び 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで

（3）施設の改修・修繕

つみき園自動ドアセンサー取替工事

ボランティア作業室改修工事

点訳室移設工事

点訳室網戸設置工事

ボランティアセンターブラインド修繕

講習室スロープ設置工事

(4) 年度別利用人員及び年度別年間使用料収入状況

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
利用人員	45,288 人	46,126 人	47,693 人
1日平均利用人数	135.2 人	137.3 人	142.4 人
使用料収入	976,260 円	970,810 円	1,140,960 円

(5) 年度別用途別利用数 (単位：件)

区 分	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	有料	無料	有料	無料	有料	無料
会 議	50	130	92	155	101	193
集 会	4	14	5	15	3	13
講 習	74	119	18	110	10	113
研 修	53	76	52	53	28	59
例 会	226	366	265	381	349	395
その他	50	410	47	465	41	479
小 計	457	1,115	479	1,179	532	1,252
社協・町連 母子寡婦福祉会 更生保護サポートセンター	0	1,692	307	1,616	561	1,554
合 計	3,264		3,581		3,899	

4 地域福祉の推進

(1) 地域における権利擁護の推進

日常生活自立支援事業の実施（北海道社会福祉協議会委託事業）

認知症、知的障がい、精神障がい等により、判断能力が不十分で日常生活に支障のある方に対し、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等の支援を行い、日常生活の自立支援に努めた。

(ア) 利用契約者件数

区 分	認知症 高齢者	知 的 障がい者	精 神 障がい者	その他	合 計
相 談 件 数	354 件	168 件	293 件	16 件	831 件
新規利用契約件数	1 件	0 件	1 件	0 件	2 件
解 約 件 数	2 件	0 件	1 件	0 件	3 件
利用契約件数	10 件	2 件	4 件	0 件	16 件
生活支援員数	23 名 (実働 11 名)				
社協預かり	通帳 8 冊・印鑑 1 本				

(イ)生活支援員研修交流会の開催

主な内容	実施日	出席者数
介護保険制度の仕組みについて・情報交換	平成 28 年 7 月 27 日	8 名

(ウ)北海道地域福祉生活支援センター【空知地区】生活支援員研修会への出席

主な内容	実施日	出席者数
対人援助の基本的態度について・情報交換	平成 28 年 11 月 22 日	生活支援員 9 名 自立生活支援専門員 2 名

(エ)研修会への職員派遣

研修会・会議名	実施日	派遣職員数
北海道地域福祉生活支援センター 「自立生活支援専門員研修会」	平成 28 年 9 月 28 日～29 日	2 名

市民後見推進事業の実施（岩見沢市委託事業）

誰もが住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らせる地域づくりを目指すため、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が十分でない人が成年後見制度を適切に利用できるよう後見実施機関の開設に向けた体制整備を図り、平成 28 年 10 月 14 日に岩見沢市成年後見支援センターを開設した。

岩見沢市成年後見支援センターでは、成年後見制度等に関する相談・申立手続支援、市民後見人の養成・活動支援、普及啓発を行った。

【岩見沢市成年後見支援センターの開設に向けた体制整備】

(ア)岩見沢市後見実施機関開設準備委員会の開催

会議名	実施日	出席委員数
第 1 回岩見沢市後見実施機関開設準備委員会	平成 28 年 7 月 13 日	8 名
第 2 回岩見沢市後見実施機関開設準備委員会	平成 28 年 9 月 6 日	6 名

(イ)先進地視察研修の実施

視察研修先	実施日	派遣職員数
北見市成年後見支援センター	平成 28 年 5 月 24 日	2 名
小樽・北しりべし成年後見センター	平成 28 年 6 月 9 日	2 名

【成年後見支援センターの具体的な取り組み】

(ア)相談・申立手続支援実績

平成 28 年 10 月 14 日～平成 29 年 3 月 31 日

相談状況	新規相談	37 件	計 118 件
	継続相談	81 件	

相 談 内 容	法定後見	103 件	計 150 件
	任意後見	4 件	
	日常生活自立支援事業	5 件	
	相続・遺言	2 件	
	市長申立	21 件	
	介護・福祉サービスの手続き	1 件	
	財産管理	7 件	
	消費者被害	1 件	
	その他	6 件	

(イ)成年後見支援センター運営協議会・事例検討会の設置・開催

会議名	実施日
第 1 回成年後見支援センター運営協議会	平成 28 年 10 月 14 日
第 1 回成年後見支援センター事例検討会	平成 28 年 10 月 14 日
第 2 回成年後見支援センター事例検討会	平成 28 年 12 月 13 日

(ウ)市民後見人の養成と活動支援

・市民後見人養成講座の開催

事業名	実施日	受講者数	修了者数
市民後見人養成講座 (基礎編)	平成 28 年 10 月 15 日～12 月 10 日 毎週土曜日 全 8 日間 31 単位	19 名	18 名
市民後見人養成講座 (フォローアップ編)	平成 29 年 1 月 26 日～2 月 16 日 毎週木曜日 全 4 日間 16 単位	12 名	12 名

・法人後見受任状況

対象者区分	年代	居住環境	申立人	類型	審判確定日
認知症	80 代	認知症グループホーム	岩見沢市長	後見	平成 29 年 2 月 17 日
知的障害	60 代	病院	親族	後見	平成 29 年 2 月 22 日

・法人後見支援員の登録と活動状況

法人後見支援員登録者数	8 名
法人後見支援員活動者数	4 名
法人後見支援員活動延回数	7 回
法人後見支援員活動延人数	14 人

・法人後見支援員登録者研修会の開催

主な内容	実施日	出席者数
法人後見支援員の具体的な活動内容について	平成 28 年 11 月 30 日	8 名

(I) 普及啓発

・成年後見制度講演会の開催

日 時	平成 28 年 12 月 3 日 (土) 13 時 30 分 ~ 15 時 10 分
開催場所	岩見沢市民会館・文化センター「まなみーる」文化センター中ホール
内 容	演劇 「劇で楽しく！なっとく成年後見制度」 ～意外と身近で気になるお話～ 出演 公益社団法人成年後見センター リーガルサポート司法書士劇団「リーガルいち座」 講演 「なるほど！成年後見制度」 講師 公益社団法人成年後見センター リーガルサポート札幌支部 司法書士 大桃 涼輔 氏 説明 「岩見沢市成年後見センターのご案内」
参加者数	155 人

・出前講座講師対応

団体名・依頼テーマ	実施日	参加者数
岩見沢市介護支援専門員連絡協議会 「岩見沢市社会福祉協議会がすすめる権利擁護支援の取り組みについて」	平成 28 年 6 月 15 日	68 名
岩見沢居宅介護支援事業所 「岩見沢市社会福祉協議会がすすめる権利擁護支援の取り組みについて」	平成 28 年 7 月 26 日	20 名
美流渡・毛陽・万字地区連絡会 「岩見沢市成年後見支援センターの概要について」	平成 28 年 12 月 15 日	26 名
岩見沢家庭生活カウンセラークラブ 「岩見沢市成年後見支援センターの取り組みについて」	平成 29 年 2 月 4 日	14 名
西町会女性部 「成年後見制度について」 ～今後 ひとり暮らしの人達の安心のために～	平成 29 年 3 月 15 日	34 名

・その他周知啓発活動

実施事項	実施日
FM はまなすラジオ出演	平成 28 年 11 月 18 日
空知信用金庫本店成年後見制度 PR ブース設置	平成 28 年 12 月 15 日
岩見沢市消費者被害防止ネットワーク定例会議事例紹介	平成 29 年 2 月 27 日

(2) 住民主体の地域福祉の推進

地域のニーズに柔軟に対応した福祉サービス、ボランティア活動の普及、住民主体の地域活動の活性化を図り地域福祉の推進に努めた。

小地域福祉ネットワーク事業の支援

小地域（ふれあい推進協議会・地区協議会・町会等）を基盤として展開される地域住民の参加と協力による見守り、安否確認活動やゴミ出し、身近の世話等を行う日常生活支援活動等に対して助成を行い、地域における助け合い・支え合い活動の活性化と生活課題・福祉課題の発掘に努めた。

助成金 3,017,300 円

地域福祉活動推進セミナーの開催

地域福祉活動関係者を対象に開催し、地域を取り巻く生活課題・福祉課題の現状や課題解決に向けた取り組みについて理解を深めることで、住民主体の地域福祉活動を促進した。

3月3日 参加者 121名

実践発表 「若松地域給食ボランティア」の取り組み

「ふれあいサロン元気かい」の取り組み

「精神保健ボランティアサークル友(YOU)」の取り組み

地域ふれあいサロン事業の支援

(ア) 地域ふれあいサロンの運営・設置について支援するとともに、サロン活動団体に対して助成を行い、地域における世代を超えた交流の場の普及に努めた。

助成 26団体 588,000円

平成28年度新規サロン 5団体

- ・ふれあいサロン(ひばり町内会)
- ・サロンお達者倶楽部(幌向第19町内会)
- ・万字ふれあいサロン(万字町内会)
- ・ふれあいサロン幌向24(幌向第24町内会)
- ・さわやかサロン宮一会(宮下1丁目町会)

(イ) 地域ふれあいサロン活動者情報交換会の開催

地域ふれあいサロン実践者を対象に、各サロン活動上の課題や活動内容について、相互に情報交換・共有を図り、サロン活動に対する理解をより一層深めた。

10月20日 参加者 35名

(ウ) 地域ふれあいサロン研修交流会の開催

サロン活動に関する講話や演習、グループ交流などを通して、サロン活動内容の充実と実践者同士のネットワークを構築し、今後の活動の更なる充実を図った。

2月3日 参加者 52名

地域福祉活動費助成事業の実施

町会・自治会単位で実施される地域福祉活動に対して活動費の助成を行い、地域コミュニティ活動の促進を図った。

また、その取り組みを広報誌等で周知を図り、他の地域における活動の拡大に努めた。

助成金 20,000円 緑町内会「独居高齢者安心安全事業」

地域除排雪活動支援事業の実施(岩見沢市委託事業)

岩見沢市の委託を受け、自力で除雪が困難である要援護世帯に対して、地域のボランティアによる日々の除排雪活動に助成支援を行い、地域における支え合い活動の充実を図り、冬期間における要援護者の日常生活

の安全確保に努めた。

対象世帯 1,331 世帯 助成金 6,884,300 円

レクリエーション用具貸出事業の実施

町会・自治会、ボランティア団体、ふれあいサロン活動団体等に紅白玉入れや童話かるた等のレクリエーション用具の貸出を行い、地域交流の促進、活性化を図った。

貸出件数 14 件

地域福祉出前講座の実施

町会・自治会をはじめとする福祉団体等からの要望に沿って、当会職員等が講師となり「地域福祉出前講座」を実施し、地域住民の福祉に対する理解や関心を深めた。

出前件数 6 件

内容「成年後見支援センターの概要について」

「ボランティアセンターの概要について」 外

認知症サポーター養成講座の開催

認知症についての正しい理解と認知症の人やその家族が地域で安心して暮らしていけるように温かく見守り、支援する応援者（サポーター）の養成を図った。

また、歩行機能改善や認知機能の低下予防が期待される、ふまねっと運動の体験教室を開催した。

12月9日 参加者 37名

社会福祉功労者表彰の実施及び推薦

当会顕彰規程に基づき、永年にわたり地域及びボランティア活動等にご尽力し、地域福祉の向上に寄与された個人及び団体をたたえ、表彰を行うとともに、活動を通じて社会福祉に貢献されている市内社会福祉関係者及び団体を、その功績から岩見沢市の福祉活動功労者表彰をはじめ、北海道社会福祉協議会会長表彰などへ推薦を行った。

(ア) 岩見沢市社会福祉協議会 社会福祉関係功労者表彰 (敬称略)

功績表彰	善行感謝	ボランティア 功労賞	永年勤続表彰	功労表彰
萩生田 博 子 斉 藤 日出子 吉 田 明 美 出 口 道 子 加 藤 啓 子 氏 家 久美子	ライフネット 岩見沢公益社 道 下 幸 治 高 橋 那之代 工 藤 寛 人 北 浦 輝 雄 成 田 進 渡 邊 博 竹 田 光 朝 真 樹 の 会	横 山 泰 子	小 玉 和 則 鈴 木 あ や 中 橋 明日香 佐 藤 友 彦 大 畠 真 衣 川 野 由 佳 齊 藤 由美子 奥 村 卓 史	嵐 幸 雄 内 海 泰 子 土 田 繁 雄 藤 田 政 利 松 田 美羽音 大 西 拓 也 横 田 明

10月28日 功績表彰(6人)・善行感謝(7人・2団体)
ボランティア功労賞(1人)・永年勤続表彰(8人)
功労表彰(7人)

- (イ) 北海道空知総合振興局長表彰
(社会福祉関係団体役職員功労・民生委員児童委員功労)
高松 孝行・嵐 幸雄・吉田 義夫・西尾 三枝子・秋山 勝治
8月2日 地域の絆と支え合い活動空知地区推進セミナー席上
- (ウ) 北海道社会貢献賞(北海道知事表彰・社会福祉事業団体関係者功労)
土田 繁雄
9月7日 北海道社会福祉大会席上
- (エ) 北海道社会福祉協議会会長表彰
(社会福祉協議会役員功労)
高松 孝行・嵐 幸雄
(民生委員児童委員功労)
吉田 義夫
9月7日 北海道社会福祉大会席上
- (オ) 北海道共同募金会会長表彰(共同募金運動永年勤続奉仕者)
春木 弘子
9月7日 北海道社会福祉大会席上
- (カ) 厚生労働大臣表彰(身体障害者等社会参加促進功労者)
三宅 睦男
12月6日 障害者自立更生等更生労働大臣表彰式典席上
- (キ) 全国社会福祉協議会会長表彰
(社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労)
藤田 政利
11月11日 全国社会福祉大会席上

(3) 高齢者等の生きがい・健康づくりの推進

高齢者趣味と教養・健康増進支援事業の実施

岩見沢市老人クラブ連合会が主催する各種事業に対して、助成支援を行い、高齢者が個々の技能や趣向を活かした社会参加活動を通じて、仲間づくりや生きがいの場づくりが図られた。

5月28日 岩見沢市高齢者文化祭
助成金 30,000円 ステージ発表者 500名
作品展示品 409点

7月16日 岩見沢シニア交流大会
助成金 80,000円 参加者 938名

11月20日 囲碁・将棋大会
助成金 20,000円 参加者 43名

金婚祝賀会開催事業の実施(岩見沢市委託事業)

結婚生活50年を迎えるご夫婦を招待し、7月25日、ホテルサンプラザにて「第43回金婚を祝う会」を開催した。

該当者213組426人 出席者113組と8人 計234人

男性のための料理教室の開催

男性が「食」に興味をもち、自分で作る楽しさを知り、料理を通しての仲間づくりと家庭生活における自立支援を図った。

参加者 14名

介護者誕生日祝金贈呈事業の実施

在宅で体の不自由な高齢者や障がい者の介護を支える家族のご苦労に対して、祝金の贈呈を行った。

贈呈件数 4件 40,000円

(4) ボランティア活動の振興

ボランティアセンター運営事業

岩見沢市におけるボランティア活動の推進拠点であるボランティアセンターの機能充実を図るため、各ボランティア団体や関係機関と連携、情報交換を図り、情報を共有できる体制づくりに努めるとともに、情報誌やホームページ等を活用した情報発信を行い、ボランティア活動に関する市民の理解と関心を深めボランティア活動の促進を図った。

また、随時、機会を捉え地域へボランティア活動の普及を図り、市民に信頼される社協ボランティアセンター運営に努めた。

運営委員会の開催(年2回)

運営部会の開催(随時)

定例会の開催(月1回)

(ア) ボランティア登録団体・個人数

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
団体登録数	29団体	27団体	25団体	27団体	26団体
個人登録数	12人	8人	9人	10人	17人

(イ) ボランティア相談・連絡

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
相談件数	35件	23件	38件	27件	23件
連絡調整件数	12件	12件	10件	8件	14件

(ウ) ボランティア派遣支援

車いす介助・視力障がい者介助・手話通訳等のボランティア派遣を行い、高齢者や障がい者、その家族の日常の負担軽減を図った。

派遣件数 90件

(エ) ボランティアセンターに関する広報活動

ボランティアセンター広報部会によるボランティアセンター広報紙「おもいあい」を発行し、市内の公共機関等に配布、設置し、ボランティア活動の情報発信、事業参加の呼び掛け等、ボランティア活動の周知啓発に努めた。

おもいあい 年3回発行(6月号・10月号・3月号)

発行部数 各号1,500部

(オ) 研修派遣事業

各種研修会等に参加し、ボランティアに係る先進的事例等の情報収集、他のボランティア活動者との研修、交流を深め、ボランティア活動の質的向上及びボランティアネットワークの促進を図った。

開催日	開催地	研修会名	参加者
8月27日～28日	室蘭市	ボランティア愛ランド北海道 in むろらん	12人
11月1日	岩見沢市	空知地区ボランティア活動推進セミナー	44人
12月5日	札幌市	市町村ボランティアセンター運営協議会	1人
12月6日	札幌市	ボランティアコーディネーター資質向上研修会	2人
1月13日	札幌市	全道福祉の学習推進セミナー	1人

ボランティア活動者の発掘と育成

公的サービスだけでは対応できない福祉ニーズに対し、ボランティア活動者の発掘と資質向上を図るため、各養成講座、講習会を開催し、ボランティア活動者の底辺拡大と人材育成に努めた。

(ア) 手話奉仕員養成講座の開催

聴覚障がいに対する理解促進と聴覚障がい者の社会参加、日常生活を援助する手話奉仕員の養成を行った。

昼の部 4月13日～12月7日(全34回)

受講者10名 修了者 9名

夜の部 4月12日～12月6日(全34回)

受講者18名 修了者 12名

(イ) 傾聴ボランティア講座の開催

傾聴についての知識や技術、心構えを学び、傾聴に対する理解促進と地域や施設において活動する傾聴ボランティアの養成を行った。

5月17日～6月7日(全4回) 受講者 13名

(ウ) 施設等ボランティア学習会の開催(新規)

車いす介助や視力障がい者の介助方法の基本的な技術を学習し、福祉施設や学校等からのボランティア依頼に対して、協力可能なボランティア人材の育成を図った。

6月1日～6月8日(全2回)

受講者 車いすの部 33名 ガイドヘルプの部 29名

(エ) 精神保健ボランティア講座の開催

精神障害への理解を深め、精神障がい者が豊かな地域生活を送ることができるように、その橋渡し役としての精神保健ボランティアの養成を行った。

6月16日～6月23日(全2回) 受講者 12名

- (オ) ボランティア活動者交流会の開催
 ボランティアセンター登録団体及び個人の活動者の情報交換、交流を通し、様々な分野でのボランティア活動の状況を把握することにより、今後の活動のネットワークづくりを図った。
 6月28日 参加者 100名
- (カ) 視覚障がい者支援講習会「ガイドボランティア講座」の開催
 視力障がい者に対する理解促進とガイドの体験演習等を通じて、視力障がい者の外出を支援するガイドボランティアの人材の育成を図った。
 7月1日～15日(全3回) 受講者 13名
- (キ) やさしい在宅介護講習会の開催
 在宅介護に係る講話や一般的な介護方法等について演習等を行い、家庭や地域で孤立することなく豊かな生活を送るための一助として、介護知識・技術の向上及び在宅で介護に取り組む方々の日常の悩みや負担の軽減に努めた。
 9月20日～27日(全2回) 受講者 19名
- (ク) ボランティア活動者研修会の開催
 ボランティア活動者が一堂に会し、地域に根付いたボランティア活動のあり方を学び、スキルアップを図り、今後のボランティア活動の充実に役立てた。
 2月28日 受講者 87人

ボランティア団体・福祉団体活動支援事業

- (ア) ボランティア団体・福祉団体活動への支援
 ボランティア団体・福祉団体の育成や活動の活性化を図るため、活動費の助成を行い、ボランティア団体の円滑な活動及び障がいのある方の社会参画の促進を図った。
- | | | |
|------------|-------|-----------|
| ボランティア団体助成 | 16 団体 | 160,000 円 |
| 福祉団体助成 | 8 団体 | 305,000 円 |
- (イ) ボランティア活動保険等の加入促進
 登録ボランティア団体・個人が安心して活動するため、全社協「ボランティア活動保険」の加入促進と保険料の助成を行った。
 また、当会除雪ボランティア活動者や被災地支援ボランティア活動者に対して、保険料の助成を行い、ボランティア活動の促進を図った。
- | | |
|-------------|--------------------------|
| ボランティア活動保険 | 個人 65 人(一般 38 人・災害 27 人) |
| | 25 団体(538 人) |
| ボランティア行事用保険 | 2 団体(91 人) |

災害ボランティア支援体制の推進

災害時におけるボランティア活動を効果的、効率的に展開することを目的に、災害ボランティア現地対策本部運営マニュアルを作成し、災害

ボランティアの受入及び活動体制の整備を図った。

また、北海道社会福祉協議会から台風 10 号による被災地社協支援に係る職員派遣要請に対して、当会職員 1 名を南富良野災害ボランティアセンターに派遣し、被災地支援活動を行った。

派遣期間 9 月 20 日～9 月 23 日

派遣職員 地域福祉係 書記 國府田 裕之

除雪ボランティア派遣事業の実施

自力で除雪が困難かつ家族や親族及び町会・自治会からの協力が得られない要援護者世帯（高齢者・障がい者）に対して除雪ボランティアを派遣し、間口の拡幅及び暖房器具の給排気筒等の除雪支援を行い、日常生活の安全確保に努めた。

登録数 個人 2 人・4 団体

支援世帯数 延 22 件 活動者数 延 83 人

（ 5 ）福祉教育の推進

福祉教育推進事業

(ア) 小・中・高等学校のボランティア活動への支援

小・中・高等学校の児童・生徒の社会福祉への理解と関心を高め、実践活動によりボランティアの心と社会連携の精神を養うことを目的に、各学校における福祉教育のボランティア活動実践活動費助成を行った。

また、道社協が実施している学童・生徒のボランティア活動普及事業協力校として、北村中学校が再指定を受けた。（平成 27 年度～29 年度）

小・中・高等学校 26 校 助成金 650,000 円

(イ) 児童・生徒のボランティア体験研修会の開催

中・高等学校の生徒を対象に、ボランティア活動者をはじめ様々な分野で活動している地域活動者との協働により、災害における体験訓練（炊き出し訓練、要援護者への介助方法等）を実施し、災害時に自ら考え主体的に行動できるよう、日頃の備えに対する知識や発生時における対応力の育成を図った。

8 月 6 日 参加者 38 名

地域福祉教育推進事業の実施

学校における「総合的な学習」等の福祉学習の要請に応じ、障がい当事者及びボランティアを講師として派遣することで、効果的な福祉学習を実施し、ノーマライゼーションの理念普及に努めた。

派遣人数 延 128 人

福祉体験学習（総合学習）実施状況

実施日	学校名	学年・人数	学習内容
6月29日	第二小学校	6年生・14人	車いす体験と車いす利用者との交流
8月30日	北真小学校	手話クラブ所属児童 8人	聴覚障がい者の講話と手話体験
9月15日	月形小学校	3年生・18人	聴覚障がい者の講話・手話体験
9月16日	北真小学校	5年生・19人	視覚障がい者の講話・ガイドヘルプ体験
9月21日	西高等学校	3年生・41人	聴覚障がい者の講話・手話体験
9月23日	北真小学校	5年生・19人	車いす利用者との交流・車いす体験
9月26日	中央小学校	4年生・57人	聴覚障がい者の講話・手話体験
10月7日	美流渡中学校	全校生徒12人	視覚障がい者の講話・ガイドヘルプ体験
10月19日	上幌向中学校	3年生・17人	車いす利用者との交流・車いす体験
			視覚障がい者の講話・ガイドヘルプ体験
10月31日	東小学校	6年生・55人	車いす利用者との交流・車いす体験
11月2日	栗沢小学校	3年生・39人	福祉についての講話
11月4日	北真小学校	6年生・12人	高齢者疑似体験
11月8日	東小学校	6年生・55人	視覚障がい者の講話・ガイドヘルプ体験
			視覚障がい者の講話・点訳体験
11月9日	日の出小学校	4年生・56人	車いす利用者との交流・車いす体験
11月10日	日の出小学校	2年生・63人	聴覚障がい者の講話・手話体験
11月15日	東小学校	6年生・55人	聴覚障がい者の講話・手話体験
11月22日	東小学校	6年生・55人	高齢者疑似体験
11月25日	緑中学校	全校生徒270人	車いす利用者との交流・車いす体験
12月2日	日の出小学校	3年生・67人	視覚障がい者の講話・ガイドヘルプ体験
12月6日	日の出小学校	6年生・67人	聴覚障がい者の講話・手話体験

実施日	学校名	学年・人数	学習内容
12月13日	第一小学校	5年生・68人	車いす利用者との交流・車いす体験
1月31日	中央小学校	3年生・57人	視覚障がい者の講話・ガイドヘルプ体験
2月7日	中央小学校	3年生・57人	車いす利用者との交流・車いす体験
2月17日	第一小学校	3年生・68人	聴覚障がい者の講話・手話体験
2月20日	栗沢小学校	2年生・27人	視覚障がい者の講話
		3年生・39人	聴覚障がい者の講話・手話体験
合計	25校	1,293人	

高等学校の生徒を中心としたボランティア活動への支援や協力

農業高校ボランティア・ユネスコ部、緑陵高校ボランティア部、東高校ボランティア部、西高等学校生徒会執行部、高等養護学校生徒会執行部の5高校の生徒が行う「第5回復興支援東北の物産販売高校生プロジェクト in 岩見沢」の企画、金銭管理、助言指導などの支援を行い、高校生のボランティア活動、社会参加活動の取組みを支援した。

また、4月に発生した熊本地震に係る義援金の街頭募金活動の実施、さらに従来の東北と、熊本県、大分県の物産を購入し、販売会を実施した。

8月9日 札幌地下歩行空間

8月23日 大和タウンプラザ

9月18日 であえーる岩見沢

指定地域福祉教育セミナーの開催

指定校のボランティア担当者とボランティア関係者や福祉・教育関係者等を対象に、専門的な講師による講話や学校におけるボランティア活動実践発表等を通じて、今後の福祉学習やボランティア活動の展開の充実を図った。

11月28日 参加者 8名

実践発表者 岩見沢市立幌向小学校

岩見沢市立光陵中学校

(6) 生活困窮者等への支援

生活福祉資金貸付事業の実施（北海道社会福祉協議会委託事業）

他の貸付制度を利用できない、所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者のいる世帯の生活の安定に必要な資金の貸付相談事務を行うとともに、民生委員児童委員、生活サポートセンターりんく、ハローワーク等の関係機関と連携を図り、経済的自立に努めた。

平成 28 年度貸付件数及び金額

資金名	資金の種類	件数	貸付金額
総合支援資金	生活支援費	1 件	348,000 円
福祉資金	緊急小口資金	4 件	370,000 円
	療養介護資金	1 件	190,000 円
	その他資金	2 件	290,000 円
合計		8 件	1,198,000 円

愛情銀行緊急生活費の交付

生活福祉資金の貸付要件に合致せず、やむを得ない事情により緊急に生活費が不足した者に緊急生活費の貸付支援を行った。

8 件 65,000 円

法外援護事業への支援

生活保護申請から決定までの生活つなぎ資金と金銭不所持者等の送還旅費について市福祉事務所を通じて貸付及び交付を行った。

生活つなぎ資金 54 件 965,000 円

送還旅費 16 件 16,840 円

(7) 相談支援体制の充実

心配ごと相談事業の実施

民生委員児童委員に「ふれあい相談員」を委嘱し、地域における身近な「相談窓口」として、相談支援の充実を図った。

また、地域の方々が気軽に相談できるよう、市内各所で移動心配ごと相談所を開設し、日常生活における心配ごとの解決や軽減、専門機関等への橋渡しを行い、心配ごとの早期解消に努めた。

移動心配ごと相談所開設 6 回 相談件数 2 件

(8) 日常福祉用具の助成・物品貸出事業

愛情銀行運営事業

日常生活を営む上で、生活用具が必要と認められた方に交付及び助成を行った。

また、市民の温かい善意と思いやりによる金品の寄附及び預託を受け、真に必要なとする方々への交付提供を行った。 別紙資料

杖助成 9 人

アイスピック助成 7 人

車椅子の貸出

傷病等の理由により一時的に車椅子が必要になった方や、彩花まつり、ふるさと百餅祭り等のイベントに車椅子を貸出し、日常生活の向上や社会参加の促進、在宅介護への負担軽減に努めた。

また、小・中・高等学校の福祉体験学習にも貸出しを行い、効果的な

福祉教育に活用した。
車椅子貸出状況

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
件数	99 件	76 件	119 件	112 件	106 件
台数	219 台	183 台	233 台	222 台	232 台

5 福祉サービス事業の推進

当会が設置している居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業、相談支援事業、障がい児通所支援事業について、新規利用者を積極的に開拓するなど、利用者増に向けて努力し、介護報酬の改定による影響を最小限に抑えるとともに、関係法令を遵守した適正な運営を行い、また、利用者が安心して満足できるサービスを受けることができるよう、各サービスの質的向上と職員の資質向上に努めた。

近年増加している高齢者虐待ケース等の困難な事例についても、地域包括支援センターや保健所等関係機関と連携し、積極的に相談に応じた。

また、発達に遅れや障がいのある子どもについては、幼児期の検診時における早期発見を目指し、市教育委員会子ども課、学校、幼稚園、保育所との連携を密にしながら適切な療育の提供を行い、子どもの健全育成に努めた。

(1) 居宅介護支援事業

介護支援専門員（ケアマネジャー）9人により要支援・要介護認定者の居宅サービス計画書（ケアプラン）を作成し、自立した在宅生活を続けていけるよう介護サービスの調整に努めた。

	H27 年度	H28 年度
要介護ケアプラン作成数	3,288 人	3,200 人
予防プラン作成数	728 人	802 人
要介護ケアプラン月平均作成数	274 人	266.6 人
予防プラン月平均作成数	60.6 人	66.8 人

(2) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

訪問介護事業・介護予防・日常生活支援総合事業

在宅で日常生活に支障のある高齢者等に対し、介護保険制度による居宅介護サービス計画に基づき訪問介護員を派遣し、生活援助・身体介護等のサービス提供による自立した生活支援に努めた。

	H27 年度	H28 年度
延利用者数	1,486 人	1,244 人
延利用回数	12,219 回	10,579 回
月平均利用人数	123.8 人	103.7 人
月平均利用回数	1,018 回	882 回

居宅介護事業（ヘルパー派遣）

在宅で日常生活に支援が必要な身体障がい者・知的障がい者及び精神障がい者に対して、訪問介護員（ホームヘルパー）を派遣し、生活援助・

身体介護等を通じて在宅福祉サービスの提供による自立した生活支援に努めた。

	H27 年度	H28 年度
延利用者数	422 人	358 人
延利用回数	2,872 回	2,571 回
月平均利用人数	35.2 人	29.8 人
月平均利用回数	239.3 人	214.3 人

相談支援事業（訪問介護課・つみき園）

障がい者(児)の自立した日常生活や社会生活への支援及び障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、相談支援専門員(専従1名・兼務2名)がケアマネジメントによりサービス等利用計画の作成及びモニタリングを行った。

		平成 27 年度	平成 28 年度
障がい者	利用計画	217 件	151 件
	月平均	18.1 件	12.5 件
者	モニタリング	266 件	251 件
	月平均	22.2 件	20.9 人
障がい児	利用計画	236 件	228 件
	月平均	19.7 件	19 件
児	モニタリング	130 件	52 件
	月平均	10.8 件	4.3 件

(3) 通所介護事業（栗沢・美流渡デイサービスセンター）

利用者一人一人の心身の状態やニーズに合ったサービス提供に努めた。

また、運営の効率化と安定したサービス展開に向けて職員充実や処遇を改善しキャリアパス等を実施したほか、利用者及び家族、地域の方々への住民参加型の施設ふれあい祭り等を開催し、地域に親しまれる事業所づくりに努めた。

栗沢デイサービスセンター

営業日数（月曜日～金曜日）259 日（土曜日）51 日

通所利用者数延（月曜日～金曜日）5,293 人（土曜日）718 人

1 日平均利用者数（月曜日～金曜日）20.4 人（土曜日）14.1 人

職員配置数（月曜日～金曜日）9 人（土曜日）6 人

美流渡デイサービスセンター

営業日数（月曜日、水曜日、金曜日）148 日

通所利用者数延 777 人

1 日平均利用者数 5.3 人

職員配置数 3 人

(4) 子ども発達支援センターつみき園

通所支援事業（児童発達支援事業・放課後等デイサービス）の実施

発達の遅れや偏り、障がいのある0～18歳の幼児・児童及び生徒を対象に基本的動作等の訓練や保育を通じた発達支援の提供に努めた。

登録児数 187人
 児童発達支援事業 利用者数 延 3,484人(一日平均 15.1人)
 放課後等デイサービス 利用者数 延 498人(一日平均 2.2人)
 合計利用者数延 3,982人(一日平均 17.3人)

子ども発達支援センター事業(岩見沢市委託事業)

岩見沢市より委託を受け、岩見沢圏域(岩見沢市、三笠市、月形町)における子どもの発達支援にかかるニーズを的確かつ迅速に把握するため、児童相談所、保健センター、学校、幼稚園、保育所等関係機関と連携し、情報共有を図り、発達に遅れや偏りのある児童及びその保護者に対し、個々の状況に応じた相談・支援の提供に努めた。

関係機関連携数 49機関
 発達支援に関する相談件数(延件数)
 つみき園通園幼児 98件
 つみき園未通園幼児 699件
 つみき園通園学齢 25件
 つみき園未通園学齢 31件
 合計 853件

6 協賛・後援

事業の協賛・後援により、社会福祉協議会の趣旨普及に努めた。

(1) 協賛

行事名等	開催日
第31回いわみざわ健康まつり	6月12日
第28回ひきよせ大会チャリティーバザー	8月21日

(2) 後援

行事名等	開催日
第2回レットライ!アダプテッド・スポーツ in 岩見沢	7月18日
劇団カップ座 等身大ぬいぐるみ人形劇「雨の贈りもの」	8月27日
岩見沢シチズン4周年記念	8月27日
こくわ福祉会 映画と講演の集い	9月3日
第16回ふれあい健康まつり	9月10日
いきいき健康フェア	9月10日
きょうされん第40回全国大会 in 北海道	9月15日～16日
健康と福祉を高めるセミナー	10月19日
第51回北海道特別支援教育振興大会・第41回北海道特別支援教育PTA研究大会 第16回合同大会	10月23日
精神保健ボランティアサ-クル友(YOU)20周年記念事業	10月29日
ドキュメンタリー映画「あい 精神障害と向きあって」上映会	12月2日
公開講演会「若者のひきこもり～悩む家族とこれからの社会～」	29年3月4日
第70回花まつり	29年5月13日

7 指定管理者制度による管理受託施設利用状況

指定管理者制度による受託施設(岩見沢市高齢者福祉センターふれあい、岩見沢市栗沢福祉団体活動センター、栗沢・美流渡デイサービスセンター)について、利用者のニーズに応じた円滑な運営と安全管理の徹底に努めた。

(1) 岩見沢市高齢者福祉センターふれあい

受託日	平成26年4月1日
開館日	月曜日から土曜日まで
開館日数	293日
利用時間帯	午前9時から午後5時まで(入浴時間は正午から午後3時まで)

平成28年度利用者数

区分	一般利用人数		部会等利用人数		総計	
利用人数	20,106人		19,583人		39,689人	
男女別利用人数	男性	11,811人	男性	9,849人	男性	21,660人
	女性	8,295人	女性	9,734人	女性	18,029人
1日平均	68.6人		66.8人		135.5人	

平成28年度趣味と教養部会利用状況

部会名	利用回数	利用人数	部会名	利用回数	利用人数
カラオケ部会	37回	2,829人	謡吟会	20回	51人
民謡・伴奏部会	34回	306人	太鼓部会	43回	396人
俳句部会	10回	60人	民謡踊部会	46回	861人
ひゃっぴーサークル	4回	22人	華道部会	18回	179人
卓球部会	48回	2,400人	ふまねっと部会	45回	225人
書道部会	47回	443人	こぶしクラブ	38回	523人
詩吟部会	29回	119人	陶芸部会	184回	3,508人
手芸部会	38回	242人	囲碁同好会	242回	3,692人
木彫部会	40回	210人	新将棋愛好会	242回	2,159人
剣詩舞吟遊会	23回	184人	小計	1,257回	19,442人
ダンス部会	46回	869人	オモチャの病院	47回	139人
茶道部会	23回	164人			
合計				1,304回	19,581人

主な行事

(ア) 趣味と教養部会

内容	発表部会数	展示数・発表数	人数
展示発表	6部会	321点	
舞台発表	7部会	25演題	336人
呈茶席			70人
ふまねっと体験教室			7人
合計			413人

(1)その他

行事名	開催年月日	参加人数
土曜初心者陶芸教室	5, 6, 9, 10月	延 29人
ビデオ映画上映会	5, 6, 8, 9, 10, 1, 3月	延 90人
健康相談	5, 9, 2月	延 55人
ふれあいコンサート・カラオケの集い	7, 8, 10, 11, 1, 2, 3月	延 175人
高齢者福祉センター「ふれあいまつり」	8月 6日	600人
移動心配ごと相談所	8月 17日	0人
大掃除	12月 9日	104人
お楽しみ会	12月 17日	57人
市老連女性部軽いリズム体操	2月 3日	12人

(2) 岩見沢市栗沢福祉団体活動センター

受託日	平成 26 年 4 月 1 日
開館日数	243 日
利用人数	年間 2,485 人 1 日平均 10.2 人
職員配置	嘱託職員 1 人(支所業務と兼務)
営業日	月曜日から金曜日(祝日を除く) 但し、土・日曜及び 12 月 31 日から 1 月 5 日まで休業
時間	8 時 30 分から 17 時 15 まで
利用団体	・栗沢更生保護女性会 ・岩見沢市老人クラブ連合会栗沢地区協議会 ・いちいの会 ・すみれの会 ・補修ボランティア

(3) 栗沢・美流渡デイサービスセンター

名 称	栗沢デイサービスセンター				美流渡デイサービスセンター	
受 託 日	平成 26 年 4 月 1 日				平成 26 年 4 月 1 日	
区 分	指定通所介護・指定介護予防通所 【通常規模型】・一般型				指定通所介護・指定介護予防通所 【小規模型】・一般型	
定 員	月～金曜日 30人(1単位目) 土曜日 20人(2単位目)				1日 8人	
利用人数		年 間	月～金	土		
	営業日数	310日	259日	51日	営業日数	148日
	実人数	752人			実人数	116人
	延人数	6,011人	5,293人	718人	延人数	777人
	1日平均		20.4人	14.1人	1日平均	5.3人
職員登録人数	管理者(兼務) 1人 生活相談員 3人 介護員 2人 臨時介護員 10人 パート看護師 3人 運転手 1人				管理者(兼務) 1人 生活相談員 1人 臨時介護員 3人 パート看護婦 2人	
サービス提供時間帯配置基準	月～金曜日 職員配置基準9人 土曜日 職員配置基準6人				職員配置基準3人	
営 業 日	月曜日から土曜日(祝日を含む) (日曜日及び12月31日から1月3日まで休業)				月曜日から金曜日(祝日を除く) (土・日曜及び12月31日から1月5日まで休業)	
時 間	8時30分から17時45分まで 【提供時間帯】 9時15分～16時30分の7.25時間				8時30分から17時45分まで 【提供時間帯】 9時45分～15時15分の5.5時間	
介護内容	日常生活上の援助 (排泄の介助、移動の介助、その他必要な身体介護) 入浴の介護、機能訓練、送迎、食事の介助、相談・助言、 介護の指導、運動機能向上訓練					
利 用 料	介護報酬の告示額による ・法定代理受領分(国保連合会) ・法定代理受領分以外(個人負担)					
そ の 他 の 費 用	食費(1回につき590円)、行事食(1回につき640円) お茶・おやつ代(1回につき100円) オムツ代(実費)、その他通常必要なもの					
区 域	岩見沢市全域				岩見沢市の一部地域 (朝日町、奈良町、毛陽町、 栗沢町美流渡、栗沢町万字)	

